

# OISA NEWS

OITA  
INFORMATION  
SERVICE INDUSTRY  
ASSOCIATION

2022. 3

80

発行：大分県情報サービス産業協会  
会長 森 秀文  
<http://www.oisa.jp>  
編集：広報委員会  
事務局：大分市城崎町2-6-31  
(大銀コンピュータサービス(株)内)  
TEL (097) 537-5918  
FAX (097) 534-4545  
印刷：株式会社佐伯コミュニケーションズ

大分県情報サービス産業協会



## CONTENTS

2022年新年例会開催	2
特別講演	3
第33回OISA技術交流会開催	4
第28回OISA研修の実施	5
第30回サウンズコンテスト	6
第17回IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2021	7
第17回親睦ゴルフ大会・社会貢献活動参加	
新入会員紹介・社名変更	8

並石ダム (国東市)

2022年

# 大分県情報サービス産業協会

# 新年例会開催

2022年度の新年例会が、1月19日(水)に大分市のソレイユにて開催されました。

森秀文会長の新年の挨拶に引き続き、大分市副市長 久渡晃様、九州経済産業局情報政策課 課長 松本孝之様、大分県商工観光労働部 部長 高濱航様からのご挨拶を頂戴し、特別講演へと移りました。本年は、アフリカンサファリ園長 神田岳委様に「どうぶつと共に生きる」という演題でご講演をいただきました。



森 秀文 会長

## 会長挨拶

本日は大変ご多忙の中、大分市副市長 久渡晃様、九州経済産業局情報政策課 課長 松本孝之様、大分県から大分県商工観光労働部 部長 高濱航様にご出席を賜りました。誠にありがとうございます。

令和4年、この2022年の干支は壬寅であります。新しく立ち上がることや生まれたものが成長すること、こういった縁起のよいことを表しており、新しく動き始めて成長の礎となる年、とのことであります。また、虎は千里往って千里還るというスピード感、また決断力と才知の象徴とも言われています。

当協会は今年創立35周年を迎えます。この節目の年にあたって新たな飛躍の一年にしたい、とこのように思う所であります。

この1月7日の発表では、オミクロン株の拡大により世界の感染者は3億人を超えました。

今、県内でも連日100人超えの第6波が急拡大しているところであり、一刻も早い終息と安心できる社会・経済活動が望まれるところでもあります。

このような中であって、昨年9月1日「デジタル庁」が創設されました。自治体システムの高度化を中心に、あらゆる分野でオンライン化や地方移住へのIT活用など官民での情報化活用の強化を更に進めようとしています。

私たちの関係する情報サービス産業は、地域におけるオープンイノベーション、DXへの取り組み、自治体システムの標準化・統一化等々に期待すると共に我々自らがどのようにありたいのか、どのような姿を目指したい

のかを描き、デジタル社会への貢献と共にどう成長していくかを強く認識することが求められていることでもあります。

我々の情報サービス部門は、DXの需要が依然高く、製造や流通・金融など幅広い業種が順調に、システム大手はソフト開発の割合が高く半導体不足の影響もほぼ無い為好調な業績を維持し、各社とも業界の成功指数である受注残高を積み上げています。しかし、感染状況次第では景気が冷え込む恐れもあります。しっかりとこれらを注視しながら取り組んでいきたい、このように思います。

2022年度は多様性と協創の結晶力で課題の解決を図り、激変する社会・技術・不安定な世界経済の中で、新たな成長に向けて業界一丸となって挑戦してまいりたいとこのように思います。

結びになりますが、各社様の発展・繁栄と皆様方のご健勝を心から御祈念を申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



大分市副市長 久渡 晃様



九州経済産業局情報政策課 課長 松本孝之様



大分県商工観光労働部 部長 高濱航様

## 特別講演会

### 演題 「どうぶつと共に生きる」

日時：2022年1月19日(水) 16:20～17:40

場所：ソレイユ7階アイリスの間

講師：<sup>かんだ いわい</sup>神田 岳委 氏(アフリカンサファリ園長)

#### プロフィール

- ・白杵市出身。1969年生まれ52歳
- ・大分県立白杵高校を卒業後、東京にある日本獣医畜産大学(現日本獣医生命科学大学)に入学。1994年獣医師となり、九州自然動物公園アフリカンサファリ株式会社に入社。
- ・2020年4月にアフリカンサファリ園長に就任。現在に至る。



### 獣医を目指した理由

幼少期は蛇好きの子供であったが、動物とはあまり縁のない環境で育つ。

小学校3年の時に、父が拾ってきた柴犬の雑種「ケン」を飼うことになる。ある時、学校から帰宅すると「ケン」が倒れて泡を吹いていることがあったが、獣医の先生が注射器1本で「ケン」の治療をし、その姿に憧れて獣医を目指すこととなる。

### 就職活動

大学に進学し、獣医の免許を取得するため、勉学に励むが当時は獣医の就職先がなかった。

大学卒業間近の1月にアフリカンサファリへ求職の連絡を行い、そのままアフリカンサファリへの就職が決まる。

### 獣医の仕事は大変

象の健康診断は危険なため、ヘルメットをして象の下に入り、聴診器を胸にあてて心音を聞く。

猛獣に注射をする時は麻酔銃で眠らせるが、本当に眠っているかどうかを確認して手術を行う。

動物の手術は基本的には檻の中で行う。

獣医としてやってはいけないことが2点ある。

一つ目は動物を逃がすこと。

二つ目は動物に怪我をさせられること。

(動物ごとの特性や性格がわかれば怪我はしない)

入社当時は同僚の飼育係からなかなか獣医として認められず、「先生」と呼ばれないのを悩んでいたところ、先輩獣医師から助言を受ける。

### 最後に

きちんとお世話をしていると、動物は笑ってくれる。

動物の笑顔を見ると、飼い主も笑顔になる。

それが、「どうぶつと共に生きる」ということである。

(総務委員会)



# 第33回「OISA 技術交流会」開催

日時：2022年2月16日(水) 13:30~17:00 場所：オンライン開催

OISA 技術交流会は、大分県の情報サービス関連技術の向上と発展、さらなる振興を目的に開催されています。

第1部は、業界の最新技術動向についての研究成果やノウハウを持つ講師による講演会、第2部は、会員各社の中堅・若手技術者が集った「技術研究会」の成果発表および大分大学から「研究シーズ」の紹介がおこなわれました。今回もオンラインでの開催の中、17団体116名の参加をいただき、活況を呈しました。

## 第1部 講演会

講演：5G時代の協創による価値創造の取り組み

講師：株式会社NTT ドコモ 九州支社 ICT ビジネスデザイン担当部長 蓑毛 晃次 氏



蓑毛 晃次 氏

NTT ドコモでは、社会課題解決や地方創成として、モバイルICTの活用による社会課題解決、5G（第5世代）・AI・ビッグデータ・IoTの活用による持続可能な経済成長の実現などをめざしている。モバイルネットワークも5Gとなり、高速・大容量・低遅延・多数端末接続が実現できるようになるが、現状は高速・大容量までの提供である。低遅延を実現するためにはネットワーク構成全体の低遅延化が必要なため、MEC（Multi-access Edge Computing）を活用して加速していく。エリア展開としては、5Gは電波が届きにくいという特性を持つが、ガラスアンテナやマンホール型基地局など新たな基盤を活用して5G基地局を積極的に展開していく。

- 5Gを活用したソリューションの事例発表：福岡県東峰村での小石原焼・高取焼のライブコマース／西鉄エージェンシー ばってん少少女隊 5G生配信／中国放送 AIカメラを活用した5G映像
- 5Gソリューションの社会実装（実証実験）：対話型AI自動車椅子 パートナーモビリティ／遠隔操作ロボットを活用したリモート接客／大分県5G×eスポーツの利活用

## 第2部 技術研究会発表会

大学研究シーズ発表：人々のQOLの維持を目指した研究活動について

講師：大分大学理工学部教授 畑中 裕司 氏



畑中 裕司 氏

QOL（Quality of Life）の維持・向上のためのAIを活用して、人間の知的な活動を支援するシステムの構築をめざしている。具体的には、画像認識をする人工知能技術の活用、Virtual RealityなどのXRの活用、マルチエージェントシミュレーション、人とコンピューターの協調的な活動に関する研究を幅広くおこなっている。主に眼科（視覚）に関連する研究が多いが、それは人の五感による情報の理解においては、視覚におけるものが8～9割程度を占めているとされており、視覚障害を予防することが福祉とQOLの観点で重要だと考えている。

- 視覚障害の原因とAI開発としての事例紹介  
糖尿病網膜症 AI開発：糖尿病網膜症の初期病変である毛細血管瘤の自動検出のAI  
ぶどう膜炎のAI開発：ぶどう膜炎病変の自動検出  
今後は医学のみではなく幅広く画像を中心とした研究活動に取り組んでいく。

## 技術研究会 部会発表



部会 A

### 1) オープンデータの活用 部会 A 「みんなび ～みんなの情報 私のための道～」

今のナビゲーションの課題や欲しい機能をメンバーで話し合い、安心安全に目的地へたどり着くためのナビゲーション「みんなび」を考案した。

「みんなび」では車幅から快適に走れる経路が選択できる機能の他、動物注意や道幅情報などが事前に確認できる走行注意画面などがあり、自分にあった道を表示してくれるスマートフォンアプリとして紹介した。

### 2) オープンデータの活用 部会 B 「地域課題の解決につながるキッチンカー追跡アプリ」

「おおいのまちなかで感じたこと・困ったこと」についてアイデアを出し合い、キッチンカーが来る情報を事前に知ることができる位置情報アプリ「美味しいもの いまドコくん」を考案した。「いまドコくん」では、キッチンカー位置情報や次回来る予定情報に加え、販売メニューや人気メニュー、店舗の売上情報なども確認できるアプリとなっている。機能紹介についてはノーコードツール（Joint Apps）で開発した画面イメージをスマートフォンで紹介した。



部会 B

<http://www.oisa.jp/menu5.html>

(技術委員会)

# 第28回 OISA研修の実施

～ご参加ありがとうございました～

年度始めの4月に事前アンケートを行った際に、コロナ禍の影響のためオンライン研修の希望が多かったこともあり、今回はオンラインで実施可能な研修に絞りより具体的なテーマを候補に挙げ、以下2件の研修を企画しました。例年は技術系と非技術系でそれぞれ一つの研修テーマを選定するのですが、今回は常にアンケートでも人気のある「プロジェクトマネジメント研修」と、コロナ禍だからこそ在宅勤務や新しい生活様式の中で身に付けて欲しい「レジリエンス研修」という、ともに非技術系のテーマです。また、グループワークを通じて受講者参加型となり、無事終了いたしました。

## プロジェクトマネジメント研修(1日コース)

開催日：2021年11月11日(木) 参加15名(8社)

プロジェクトの遂行に必要な手順・手法を理解し、高いパフォーマンスを生むチーム構築ができることを目標としました。プロジェクトマネジメントの流れ～「定義」、「計画」、「実施」、「終了」～に沿って研修を実施し、特に、WBSなど課題としてよく挙がるポイントについて、演習を多く取り入れ、実践形式で講義を行いました。

講師への評価は「PMの経験が豊富な方だったので体験談を交えてのお話が分かりやすく聞き取りやすかった」と評判でした。Zoomに慣れている受講者からは「グループワークにおいて話す内容を考える時間がもう少し欲しい」「途中で一時接続不良があった際の迅速な対応が望まれる」等のご意見もありました。総合評価においては、「プロジェクト管理において情報共有を積極的に行うことでリスクの再発防止になる、リスク発生時の対応を常に考えておく必要があるという点について、大事だと感じた」や「集合研修と同じような状況で研修が受けられた」などのご意見も多く、全体的には高評価でした。



## レジリエンス研修(1日コース)

開催日：2021年11月25日(木) 参加12名(8社)

レジリエンス resilience とは〈精神的回復力〉のことを指します。レジリエンスを身につけることで、ストレスと上手に付き合い、困難を乗り越え成長することができるようになります。日々様々なストレスやプレッシャーにさらされるビジネスパーソンにとって、レジリエンスを身につけることは大切です。本研修では、ワークを通じて、自分と向き合いながら感情コントロールの仕方や自尊感情・自己効力感の高め方を学んでいくことを目的としました。

総合評価では「レジリエンスの概要について理解することができました」「アサーティブについてのお話が大きい参考になりました」というコメントをいただきました。また、「オンライン研修では対面の研修では見られない受講者の表情までより近くで見れるので、面白く感じた」「むしろ対面で受講するより講師の方の表情、他の受講生の方の表情がよく見えて親しみが湧きやすい面も感じました」等、オンライン研修に前向きなご意見もある一方、「課題に対する回答が少し悩ましいところがありました。また、オンライン研修に慣れていないせいもあり、グループ内での発言タイミング等に少し戸惑うことがありました。」というご意見もありました。

研修委員会としては、「レジリエンス」というこれまでのOISA研修で扱ってきたことのない分野、聞いたことのないテーマでしたが、今の時代に必要なスキルと考え企画しました。



研修後のアンケート等も参考にし、これからも会員の皆様のニーズを反映した研修を企画していきますので、ご意見、ご要望をお待ちしています。

(研修委員会)

第30回

# サウンズコンテスト

日時：2022年1月22日(土) 13:30～17:00  
会場：大分市コンパルホール 多目的ホール(3F)

ON THE COMPUTER

今年で30回目の節目を迎えたサウンズコンテストOn The Computerは、1月22日(土)に大分市のコンパルホール 多目的ホール(3F)、去年に引き続き無観客で開催されました。

コロナの影響によりミニイベントが直前で中止となってしまい、さらにコンテスト当日の早朝に震度5強の地震が発生し、会場のエレベーターが動かず階段で機材を運ぶなど、まさに「泣きっ面に蜂」という状態でコンテストがスタートしました。

今回の応募曲は307曲を数え、過去最高を記録しました。その中から厳選なる予選を通過したフリー曲部門24曲、トリニータ応援歌部門・ふるさと応援歌部門4曲の合計28曲で本審査を行いました。

今年は、都合によりコンテストの様様をYouTubeでライブ配信を行うことができず、応募者の方々にリアルタイムの様子をお届けすることができません

でしたが、コンテストを録画した動画を編集し、後日配信するという形にして無事に実施することができました。審査結果については公式ホームページで公開し、賞品や賞状はそれぞれ受賞者にお送りさせていただきました。



森会長挨拶



大分フットボールクラブ  
渡辺様ご挨拶



小野理事挨拶

## 審査結果

賞	氏名	地区	タイトル
グランプリ	Anonymous Musique	東京都	Conflict
フリー曲部門 一般の部 1位	NORIO	東京都	「tuga war」 David Longoria
フリー曲部門 一般の部 2位	葉山 新一朗	福岡県	カンパニユラ
フリー曲部門 一般の部 3位	宗野 晴彦	大分県	Return to Forest
フリー曲部門 学生の部 1位	呼野阿美香 -Amika Yobuno-	神奈川県	Twinkle space
フリー曲部門 学生の部 2位	サカグチ	兵庫県	灯消
フリー曲部門 学生の部 3位	尼岡 詞音	和歌山県	Lumina
トリニータ応援歌部門 最優秀賞	大塚 考浩	千葉県	Go トリニータ 我らと共に
審査員特別賞	chocotaro	北海道	おめでとう！30回記念！



コンテスト中の様子

今回も、大分フットボールクラブの後援による「トリニータ応援歌部門」を実施しました。どの曲も、J1復帰を目指す大分トリニータにふさわしい、今年の奮起を期待する気持ちのこもった楽曲が印象的でした。

その中で最優秀賞に輝いたのは、千葉県の**大塚考浩**さんの作品“Go トリニータ 我らと共に”でした。大塚さんはトリニータ応援歌部門で、去年に続き2年連続での受賞となりました。

この曲は、今春開催される今シーズンのホームゲーム開幕戦前に大分フットボールクラブへ贈呈される予定です。この曲は、向こう一年間、大分スポーツ公園総合競技場(昭和電工ドーム)で開催される大分トリニータのホームゲームのBGMとして使われることになっています。

観戦に行かれる方は、試合前に流される音楽にも是非ご注目ください。



スタッフ記念撮影

## 審査委員

	氏名	審査歴	備考
審査委員長	田村 洋彦	26回目	大分大学名誉教授(音楽科)・東アジア作曲家協会顧問
審査委員	渡邊 裕美	2回目	電子音響音楽作曲家
審査委員	松宮 圭太	1回目	大分県立芸術文化短期大学 音楽科(作曲)講師
審査委員	眞名井 龍一	7回目	大分県情報サービス産業協会 事務局長

最後に、応募曲の編集、映像の編集、会場設営等で大変ご苦労をおかけした日本文理大学関係者様、また、今回も多くの後援・協賛をいただきました各社様にも紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。(イベント委員会)

★ 第17回 IPA 「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2021 受賞作品公開

たくさんのご応募ありがとうございました。

当協会も後援団体として協力しております「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」は、標語、ポスター、4コマ漫画等の応募作品制作を通して、児童・生徒・学生のみなさんが、情報モラルや情報セキュリティについて考える機会となるようIPA（独立行政法人情報処理推進機構）により毎年開催されています。

今回も全国から約6万5千点の応募がありました。今号では大分県内の受賞作品をご紹介します。受賞者の皆様おめでとうございます。

書写賞〈独立行政法人情報処理推進機構〉

大分市立三佐小学校1年  
内結愛さん



書写(硬筆)

優秀賞〈大分県警察本部〉

標語部門

ポスター部門

白杵市立北中学校2年  
早川蒼羅さん

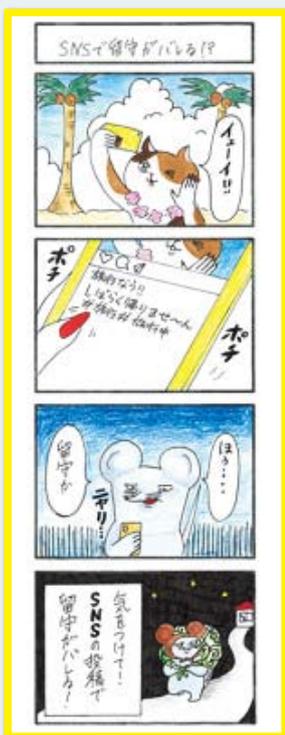
フィッシング  
かかっちゃダメよ  
そのエサに

豊後大野市立三重中学校2年  
波津久想さん



4コマ漫画部門

白杵市立北中学校2年  
青木そらさん



優秀賞〈大分県情報サービス産業協会〉

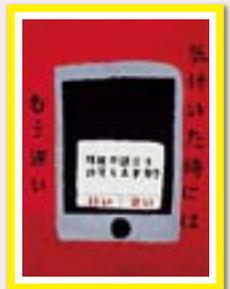
標語部門

ポスター部門

白杵市立北中学校2年  
青木そらさん

消えないよ  
キオクとキロクに  
残る書き込み

豊後大野市立三重中学校2年  
磯辺成吾さん



4コマ漫画部門

白杵市立北中学校2年  
濱中美空さん



## 第17回 OISA 親睦ゴルフ大会



2021年11月6日(土)、大分中央ゴルフクラブにて第17回OISA親睦ゴルフ大会が行われました。

総勢19名にご参加いただきました。優勝、準優勝は下記のとおりです。

	氏名	スコア	H.C.	NET.	会社名
優勝	宮本 正彦	85	16.4	68.6	大分シーイーシー(株)
準優勝	橋本 隆之	87	16.4	70.6	(株)エイビス

(企画委員会)

## 第70回別府大分毎日マラソン

# 社会貢献活動参加



2022年2月6日(日)第70回別府大分毎日マラソン大会が開催されました。新型コロナウイルスまん延防止等重点措置期間となり、大会規模を縮小しての開催となりました。ボランティア参加者の数も減少となり、当協会では全15か所の給水ポイントの中で2か所を担当しました。大会事務局よりビニールポンチョ、フェイスシールド、ゴム手袋、消毒液が配布され、万全の感染対策が行われ、絶対に感染者を広げずに大会を成功させる意気込みが感じられました。当日はとても風が強く、帽子やフェイスシールド、ゴミ箱などが風で飛ばされることもありましたが、肝心のコップはなんとか飛ばされずに済みました。また、選手の数も500名程度となり、給水作業を行いながらも選手を応援する余裕があり拍手で応援できました。(総務委員会)

## 新入会員紹介



### 株式会社 QT net 大分支店

支店長 たぶち あきひろ  
田淵 章裕

- 【事業内容】 ■電気通信事業及び関連する事業
- ・光インターネットサービス“BBIQ”
  - ・スマートフォンサービス“QT モバイル”
  - ・ネットワーク、セキュリティ、ICTソリューションなどの各サービス
  - ・データセンター、クラウドサービス
- 電力の購入、販売
- eスポーツ事業
- 広告事業 ほか

【所在地】大分市金池町 2-3-4 九州電力株式会社大分支店ビル 2階

【TEL】097-599-0086

【FAX】097-599-0089

## 社名変更のお知らせ

(新)佐伯コミュニケーションズ

(旧)佐伯印刷(株)

(新)東芝デジタルエンジニアリング(株)大分事業所

(旧)九州東芝エンジニアリング(株)